

4. 医薬品再評価提案書

提出学会名	提案書 番号	具体的な内容	商品名
日本眼科学会	217-201	投与法に「硝子体内注射」を追加する。現状：静脈内、髄腔内又は筋肉内に注射する。また、必要に応じて動脈内又は腫瘍内に注射する。	注射用メソトレキセート 5 mg
日本感染症学会	220-201	・適応疾患の拡大 ①播種性トキソプラズマ症 (B581、B582、B583、B588 のいずれか)、トキソプラズマ脳炎 (B582)、眼トキソプラズマ症 (B580) の治療 ②抗トキソプラズマ抗体陽性あるいはトキソプラズマ症発症後の高度免疫不全者におけるトキソプラズマ症の予防 ・用法・用量の追加	バクタ、バクタミニ、バクトラミン、ダイフェン等
	220-202	腸チフスの治療適応およびその用法用量に適用拡大をするための提案 ・適応疾患の拡大：“腸チフス・パラチフス”、“サルモネラ菌敗血症” ・用法・用量の追加：20 mg/kg/日（最大 1,000 mg/日）、7 日	ジスロマック等
日本血液学会	225-201	当該薬品について、再発・難治性の自己免疫性溶血性貧血への適用を拡大する提案	リツキサン点滴静注（およびそのバイオシミラー製品）
	225-202	添付文書への R-MPV 療法の追記	注射用メソトレキセート 200 mg/1000 mg
	225-203	TAFRO 症候群には保険適用がありませんでしたが、実臨床で多く使われていますので、保険収載を希望いたします。	リツキサン 100 mg、500 mg
	225-204	TAFRO 症候群には保険適用がありませんでしたが、実臨床で多く使われていますので、保険収載を希望いたします	リツキシマブ BS 100 mg、500mg
	225-205	TAFRO 症候群には保険適用がありませんでしたが、実臨床で多く使われていますので、保険収載を希望いたします。	アクテムラ点滴静注用 80 mg、200 mg、400 mg
	225-206	TAFRO 症候群には保険適用がありませんでしたが、実臨床で多く使われていますので、保険収載を希望いたします。	ネオオーラル 10 mg、25 mg、50 mg カプセル
日本血栓止血学会	227-201	ヘパリン起因性血小板減少症 (HIT) の初期治療に対してアリクストラの適応拡大を提案する	アリクストラ
	227-202	ヘパリン起因性血小板減少症 (HIT) の重症、治療抵抗難治性に対して献血ヴェノグロブリンの適応拡大を提案する	献血ヴェノグロブリン
日本在宅医療連合学会	235-201	リドカイン注射液が「在宅医療で使用できる注射」として適応拡大されることを提案する。	リドカイン注射液 (0.5%、1%、2%)
	235-202	メピバカイン注射液が「在宅医療で使用できる注射」として適応拡大されることを提案する。	0.5% カルボカイン注、1% カルボカイン注、2% カルボカイン注
	235-203	ブピバカイン注射液が「在宅医療で使用できる注射」として適応拡大されることを提案する。	マーカイン注 0.125%、マーカイン注 0.25%、マーカイン注 0.5%
	235-204	ロピバカイン注射液が「在宅医療で使用できる注射」として適応拡大されることを提案する。	アナペイン注
	235-205	レボブピバカイン注射液が「在宅医療で使用できる注射」として適応拡大されることを提案する。	ボブスカイン 0.25% 注、ボブスカイン 0.5% 注、ボブスカイン 0.75% 注
日本周産期・新生児医学会	241-201	切迫早産治療 早産の予防	ニフェジピン L10 mg
	241-202	切迫早産・頸管無力症の治療、早産の予防	ウトロゲスタン腔用カプセル 200 mg
日本心血管インターベンション治療学会	270-201	冠動脈血流遅延に対する冠動脈注入への適応拡大	ニトプロ
日本人類学会	280-201	すでに「BRCA1/2 遺伝子検査 (SRL 社)」と同等の遺伝学的検査を受けた患者に対して、再度「BRCA1/2 遺伝子検査 (SRL 社)」を行わずにオラパリブの投与を認める	リムバーザ錠 100 mg・リムバーザ錠 150 mg
日本造血・免疫細胞療法学会	294-201	造血幹細胞移植の前治療に適用を拡大する。	フルダラ静注用 50 mg

日本肺癌学会	710-201	切除不能な胸腺癌に対する S-1 の適応拡大	ティーエスワン配合カプセル T20、ティーエスワン配合カプセル T25、ティーエスワン配合顆粒 T20、ティーエスワン配合顆粒 T25、エスワンタイホウ配合 OD錠 T20、エスワンタイホウ配合 OD錠 T25
日本肺癌学会	710-202	肺癌診療ガイドライン 2022 年版では切除不能な胸膜中皮腫に対する一次治療としてのシスプラチン+ペメトレキセド併用療法にペバシズマブを追加することが推奨の強さ：2、エビデンスの強さ：C、合意率：75% で提案された。しかしながら現在本邦で胸膜中皮腫に対して血管新生阻害剤は保険適応が認められていないことから、今回適応拡大を申請する。	アバスタチン、ペバシズマブ BS
日本ヘリコバクター学会	723-201	ヘリコバクターピロリ菌の一次除菌療法においてピロリ菌がクラリスロマイシン耐性と判明している場合に、一次除菌のクラリスロマイシンに代わって本提案薬であるメトロニダゾール（フラジール）を用いる	フラジール
	723-202	ヘリコバクターピロリ菌の一次除菌療法においてピロリ菌がクラリスロマイシン耐性と判明している場合に、一次除菌のバック製剤のボノサップに代わってボノピオンを用いる	ボノピオン
日本リンパ網内系学会	740-201	悪性リンパ腫に対する適応拡大	エルプラット点滴静注液 50 mg・100 mg・200 mg、オキサリプラチン点滴静注液 50 mg・100 mg・200 mg [DSEP]、オキサリプラチン点滴静注 50 mg・100 mg・200 mg [トーフ]、オキサリプラチン点滴静注液 50 mg [ニプロ]